

豊川市都市計画道路網見直し検討 作業フロー

1 都市計画道路の現況整理

- 都市計画道路の計画決定状況を整理
- 都市計画道路の整備状況を整理
- 都市計画道路の構造及びネットワーク形成上の問題箇所の抽出

2 交通需要特性の把握

- 交通需要の背景整理
 - 豊川市の人口、人口密度、産業、施設立地状況等を整理
 - 鉄道、バスによる公共交通網の整備状況を整理
- 交通需要特性の把握
 - 第5回中京都市圏パーソントリップ調査（以下「第5回PT」とする）より、豊川市に関連する交通の特性や、過去のパーソントリップ調査結果より手段構成などの推移を把握
 - 代表交通手段別、目的別、ゾーン別の発生集中交通量、都市内都市間交通流動などを分析
 - 高齢者の交通行動特性の把握（65歳以上、75歳以上）

3 道路交通状況の把握

- 道路交通センサスによる国道における自動車交通量、ピーク時旅行速度、大型車混入率
- 鉄道路切部の交通状況の把握
- バス路線等における交通混雑箇所
- 交通事故の発生状況（危険箇所）
- 歩道の設置状況

4 上位・関連計画等の整理

- 道路交通環境を取り巻く社会経済の潮流（低炭素社会、超高齢社会への対応等、防災機能の強化、都市活性化等）
- 第5回PT調査における将来自動車交通需要（目標年次H47）
- 国県の道路整備に関する方針（国道、県道の長期構想）
- 豊川市のまちづくり方針（都市計画マスタープラン）、まちづくり資源分布
- 豊川市の交通、防災関連施策

5 道路交通の課題整理

- 都市計画道路見直し検討にあたっての課題
- 都市計画道路ネットワーク構築からの課題
- 超高齢社会、交流社会に対応したまちづくりからの課題
- 防災まちづくりからの課題

6 豊川市がめざす将来道路交通ビジョン

- 将来道路交通ビジョン（理念、目標）
 - ＜目標設定の視点＞
 - 交流・にぎわいの創出
 - 都市の安全性の確保
 - 生活圏相互の連携強化
 - 都市の活力の維持向上
- 将来道路網の基本方針
 - 都市の骨格を形成する幹線道路網の方針
 - 魅力あるまちづくりと一体となった道路網の方針

【第1回】
作業部会(H26.11.6)
委員会 (H26.11.28)

- 見直し検討の進め方について
- 道路交通の課題(案)について

【第2回】
作業部会(H27.2.20)
委員会 (H27.3.25)

- 道路交通の課題について
- 将来道路交通ビジョン(案)について

【第3回】
作業部会(H27.10.7)
委員会(H27.10.30)

- 将来交通量推計について
- まちづくりと一体となったまちづくりについて

【第4回】
作業部会(H27.12.25)
委員会 (H28.2.22)

将来都市計画道路網案について

【第5回】作業部会
(H28.2.3)

将来都市計画道路網案について

- 未整備都市計画道路の見直し検討案について
- 整備促進都市計画道路の整備方針案について

【第6回】作業部会
(H28.3.8)・【第5回】
委員会 (H28.3.29)

- 将来都市計画道路網案について
- 整備促進都市計画道路の整備方針案について

7-1 将来交通量推計

- 第5回PT調査における自動車交通量予測結果（目標年次H47）及び配分手法に基づく路線別の将来交通量を推計
- 豊川市の将来都市像を反映した人口・土地利用フレームとの整合性を確保した配分対象OD表の作成
- 配分対象ネットワークの作成
- 将来交通量推計を実施し、路線別交通量、平均旅行速度、混雑区間を通過する自動車の経路等、推計結果を解析
- 主要なアクセス時間の短縮効果の把握

8 将来都市計画道路網案の作成

【 現行都市計画道路の位置づけ確認と新規都市計画道路の検討 】

- 都市の骨格を形成する都市計画道路網案
 - 都市計画道路等の機能分類
 - 都市道路：主要幹線、都市幹線
 - 地区道路：地区幹線、補助幹線
- 魅力あるまちづくりと一体となった都市計画道路網案
 - 都市拠点、生活拠点、交流拠点形成と道づくり
 - 防災まちづくりと一体となった道づくり
 - 歩行者・自転車の安全性、快適性確保と道づくり 等

「将来都市計画道路網基本構想」

7-2 目指すべき交通環境

- 交流人口の増進寄与
- 歩行者の安全性
- 通過交通の削減
- 延焼遅延効果 等

9 未整備都市計画道路の見直し検討

- 見直し検討対象路線・区間の抽出と概要整理
- 見直し検討
 - ＜まちづくりの視点からの検討＞
 - 地区の交通環境改善の視点
 - 地区の防災活動の視点
 - 公共交通の利用環境の視点
 - 街並み形成、住環境改善又は保全の視点
 - ＜交通処理の視点からの検討＞
 - 検討対象路線を整備した場合、しない場合における周辺道路網への影響を定量的に検証（「7-1 将来交通量推計」を活用）
- 見直し案の作成

⇒現計画を踏襲 or ルート・幅員・機能等の変更 or 廃止

10 整備促進都市計画道路の整備方針の作成

- 整備重要度検討対象路線・区間の抽出
- 道路整備重要度設定の考え方を検討（成果指標、定量的・定性的評価指標の設定）
- 評価項目及び評価ウェイトの設定（総合評価加点方式）
 - ＜定量的評価の視点＞
 - 将来交通需要、費用便益比（B/C）の算定
 - ＜定性的評価の視点＞
 - 道路機能、にぎわいづくり、市民生活、防災等の優先性が向上する要因
 - ＜評価ウェイトの設定＞
 - 将来都市計画道路網基本構想による道路機能分類（都市道路・地区道路）に基づく評価配点ウェイトの設定
- 道路整備重要度の設定

平成二六年度

平成二七年度